

令和6年度 京都市子どもの読書活動優秀実践団体（者）表彰 被表彰団体（者）一覧 (敬称略・順不同)

【市長賞】 4団体

○陵ヶ岡 ゆうやけ図書館 mm スマイル 図書ボランティア

ゆうやけ図書館、mmスマイル、図書ボランティア、3つの団体がそれぞれ、放課後の学校図書館開放、読み聞かせ、学校図書館の運営支援といった異なる視点から、児童の豊かな読書活動の推進のために活動いただいています。学校図書館を、多種多様な本に囲まれて、安心して過ごせる居場所として進めていただく様々な活動は、児童が本と出会う機会や友人と楽しく過ごす場の充実、さらには、学力向上を支える大切な取組となっています。

○京都市立美豆小学校

学校経営方針の中に図書館教育を据え、図書館教育主任や学校司書を中心に全教職員が、図書活動の意味や意義を共通理解して読書活動の推進に取り組まれています。活動は多岐にわたり、朝や昼の一斉読書の時間の設定や、学校司書と教員が連携して実施するビブリオバトルや読書感想文への挑戦、著作権についての学習、図書委員の子どもたちによる読み聞かせ活動などを実施されています。また、学校司書の日誌を活用して図書館教育主任や学校管理職との情報共有を図り、学校全体で児童が読書の楽しさを感じる取組を進めてくださっています。

○京都市立京都堀川音楽高等学校

京都市図書館との連携のもと、京都市図書館で乳幼児と保護者向けのミニコンサートと読み聞かせ等を行う「0歳からの絵本コンサート」を生徒が主体的に企画・実施されています。学校が目指す「人とつながる音楽家」の育成に資する大切な取組として、対象学年の全生徒が関わり、図書館司書とともに絵本の選書やプログラム構成の検討や、演奏をされています。小さな子どもたちに寄り添ったプログラムの実施は、生徒の充実した学びにつながり、参加者にとっては、演奏・音楽を身近に感じる機会となるとともに、家族で図書館に親しみ、読書を楽しむきっかけとなっています。

○学校法人金蓮寺 錦綾幼稚園

各保育室に書棚を設置し、園児がいつでも絵本に触れることができる環境を保護者とともに整備され、絵本を楽しむ時間や読み聞かせの時間の充実に取り組まれています。また、絵本を題材にした作品展を通して、園児が多様な視点の本に出会う機会を創出されています。在園児だけでなく、未就園児やその保護者へも絵本の楽しさを伝える多様な活動を実施されており、絵本に親しむ子どもたちが増え、保護者の絵本の重要性に対する理解も広がっています。

【教 育 長 賞】 7団体

○中京もえぎ幼稚園学校運営協議会もえぎティンクル 親子の育ちプロジェクト読み聞かせボランティア

預かり保育の時間に子どもたちへの読み聞かせをされています。保護者から募ったボランティアで構成されており、園児が様々な読み手の方と絵本に親しむ機会となり、園児が自分で読むために選ぶ絵本の幅も広がるなど、読書の楽しさを知る取組をされています。

○京都市立二条城北小学校読み聞かせの会

地域の方が、子どもたちの豊かな心の成長のため本に触れる機会を与えたいとの思いで、長年、読み聞かせ活動をされています。本活動をきっかけに本が好きになる児童も多く、また、読み聞かせ中の様子を学校と共有いただくなど、子どもたちを温かく見守ってくださっています。

○おはなしの会エピクラブ

伏見中央図書館をはじめ、保育所や子ども食堂など幅広いところで読み聞かせなどの活動をされています。演目の構成や上演の工夫がなされており、長年にわたり多くの子どもたちを楽しませていただき、絵本を通じた楽しい新たな居場所づくりに取り組んでいただいています。

○京都市立明德幼稚園

地域の豊かな自然を生かした体験活動に関連する蔵書や配架の工夫を行い、園児が主体的に、絵本や図鑑に親しみ、子ども同士の対話や思考を深める活動をされています。また、通信の発行や絵本貸出の取組を通じ、家族での読書やコミュニケーションの充実に努められています。

○京都市立上鳥羽小学校

GIGA スクール構想の下で、学校図書館を「読書センター」だけでなく「学習・情報センター」と位置付け、児童が紙と電子を使い分け情報を収集する「情報活用能力」の育成を図り、学校司書と連携しながら学校教育全体で図書館教育を推進されています。

○京都市立向島東中学校

図書館教育の充実を、重点教育課題の一つに設定し、定期的な学校図書館での授業の実施、掲示物や学級文庫の蔵書を充実するなど、生徒が本をより身近に感じる様々な取組を学校全体で進めていただいています。

○学校法人聖光学園 幼稚園型認定こども園 聖光幼稚園

園児が絵本へ興味を深めるための環境整備に取り組まれています。居心地のよい図書室づくりや未就園児も含む家庭への絵本貸出、保護者による園児への読み聞かせの場の設定など、絵本を通して園児同士や親子での交流を生み、読書に親しむ機会の充実に貢献されています。